

令和5年6月9日（金）

令和5年度 大阪府立桜塚高等学校 第1回 学校運営協議会

場 所 会議室

時 間 15:00～16:30

准校長 今西 良介

委 員 古川 知子、島村 宏二、北之坊 晋次、永井 敏輝、勝部 麗子、崎阪 治、小川 美香

事務局 小西 基裕（教頭）、根岩 直希（首席・生徒指導主事）、堺 啓介（教務主任）

大矢 征礼（進路指導主事）、西原 萌（保健主事）、室津 敬一郎（主査）

1 准校長 挨拶

2 委員紹介及び事務局員紹介

3 会長・副会長の選出

教頭：会長、副会長の選出について、どなたか立候補や推薦はあるでしょうか。ないようですので、事務局から推薦させていただきます。会長を神戸親和大学教授 古川知子 様、副会長を豊中市立第四中学校教頭（夜間学級） 島村宏二 様をお願いしたいと思いますので、事務局から推薦させていただきます。特にご意見等なければ承認とさせていただきます。それでは議事審議につきましては、進行を学校運営協議会にお渡しいたします。副会長よろしくお願いたします。

4 実施要項他について

司会：実施要項について事務局から説明をお願いします。

教頭：実施要項は全日制と定時制で共通である。設置の根拠や運営の規定が記載されている。別表には学校運営協議会の委員が記載されている。全日制の会長が全体の会長、定時制の会長が全体の副会長となっている。

5 報告

(1) 令和4年度学校評価および令和5年度学校経営計画について（准校長） （資料2・3）

准校長：令和4年度は設定した目標のうち、半分以上が達成できた。「確かな学力の育成と生きる力の獲得」においては、毎回の授業で目標を提示することについては、一つ一つの授業を大切にしていくという意図があったが、概ね達成できていた。「未来の創造に向けた希望と意欲を育む支援体制の確立」においては、昨年度は行事の制限などがあったことで生徒の意識が低くなっていたと思うが、今年度はコロナの影響が小さくなっているので、学校行事などを通して生徒の意欲を高めていきたい。また、新たな支援教育コー

ディネーターを中心に SSW や SC がうまく活躍できる体制づくりを進めている。「開かれた学校運営と地域連携」においては、生徒の「将来の進路や生き方について考える機会がある」という質問への肯定率は 84%で低くはないが、今後はさらに生徒が自分の将来を考えて行動できる機会を増やしていきたいと考えている。

令和 5 年度学校経営計画について、新たな記載はない。「確かな学力の育成と生きる力の獲得」においては、日本語の読み書きがほとんどできない生徒が入学している状況を踏まえて、このような生徒に対する指導の蓄積をしていきたいと考えている。

「未来の創造に向けた希望と意欲を育む支援体制の確立」としては、今年度は職員研修としてパワハラ、セクハラ、SNS の活用に関する研修を実施していく。パワハラやセクハラについての認識や基準は変わっている。現在ほどのような行為がハラスメントに該当するか、その認識を新たにしていきたい。「開かれた学校運営と地域連携」においては、豊中市は未成年者へのケアが丁寧な印象があるので、今後も学校や行政が単独で動くのではなく、関係機関が協力することで、生徒を支援していけるよう努めたい。桜塚高校定時制は、生徒数が多いが、教員数が少ない状態にあるので、教職員数を確保できればと考えている。教員数確保のために志願者数を増やすのは本末転倒であると思うが、定時制が必要な生徒に情報が届くように、広報活動を充実させたい。現在、「教員の資質向上を図り学校教育力を向上させる」ために、定時制通信制高校間で授業見学ができるよう、各校の予定を調整している。令和 5 年度は生徒も教員も安心とゆとりが感じられるようにしていきたい。

司会：何か質問や意見は。

委員 A：定時制では生徒数が増えればいいというわけではないのはその通りだと思う。ただ、通信制高校と競争が起きているように感じる。保護者は、人との関りを学ぶためにも定時制に通ってほしいが、生徒本人は人と関わるのがいやだから通信制がいいと言っている家庭もあると聞く。そういう点では、そのような通信制とは競争の意識をもってもいいかと思うがどうか。

准校長：進路を考えるときに、定時制が選択肢にない人が多いように思う。定時制の存在を知っていれば本校を志願する人もいると思う。今は保護者も本人もスマホで情報を検索する。これからは、本校の情報がスマホでも手に入るようにしていきたい。また、定時制がどんな学校かイメージがわからない人が多いと思う。定時制にも良い点がたくさんあるので、そのような情報を発信していきたい。

委員 B：府立の定時制はいくつかあると思う。いくつかの定時制で共同してアピールできたらよいと思う。または、教育委員会も協力してもらえたらと思う。

委員 C：教員が少ない中で、外国籍の生徒が多くなっている。その生徒達にも付き添いの教員が必要になる。人と関わらせようと思っても、人が少なすぎるように思う。生徒同士だけでは関わるのが難しい。なんとか人を増やせないのか。

准校長：どこの定時制も同じ状況である。教育委員会も何もやってないわけではないが、非常勤の先生の時間しかもらうことしかできない。ただ、それでは厳しい状況が大きく好転することはないので、教育委員会には伝えている。

(2) 令和6年度教科用図書選定について (資料4)

司会：教科用図書についてである。

教務主任：本校で教科書を選ぶ際にはいくつかの観点で適切な教科書を選定している。そのうえで、学校が選定した教科書を大阪府が採択結果を通知するという流れになっている。

(3) その他

- ・スクールミッションおよびスクールポリシーについて (准校長)
- ・R5行事予定表について (教務主任)
- ・R4進路実績について (進路指導主事)
- ・生徒指導について (昨年度総括と本年度取り組み) (生徒指導主事、保健主事)
- ・食堂および給品部の撤退について (准校長)

准校長：昨年度はスクールミッションを検討していただいたが、今年度はスクールポリシーを設定する必要がある。准校長として重視したのは、グラデュエーションポリシーについてで、正しく行動できる思考力・判断力・表現力を育むという点である。また、自らの未来を主体的に描ける教育を実践できるようにしていきたい。本校生徒は、それぞれが課題を抱えているが、自分の理想を思い描き、それを実現できる力を身に付けさせたいと考えている。

教務主任：行事予定をこの形でだしている。10月に文化祭を実施するが、このあと生徒指導部から説明する。また、修学旅行は3年生が沖縄に行く予定である。

進路指導主事：昨年度卒業は全体で27名。就職は18名、進学は0名であった。昨年度は学校斡旋ではなく、自己開拓就職が多かった。就職に向けての準備をしている者もいる。職業別の就職者については、製造業が多いが、それ以外は大差はない。ここ数年の進路先では、就職が最も多いが、近年は職業訓練校などが若干増えている。今年度についても進路指導を進めているが、現状では大学や専門学校などの進学を希望している生徒が多い。

保健主事：各教科では生徒に応じた指導をしているが、学校全体で行っている支援としては、大学生などの学習支援員を一部の授業に入れている等がある。また、外国籍の生徒についてはプリント等にルビをふることや、テスト時間を延長するなどしている。また、外国にルーツがある生徒に対しては漢字での回答が難しいなどの課題もあるので、選択問題にするなど解答方法を工夫して対応していることもある。

外国にルーツのある生徒については、同じ母語をもつサポーターや支援員をあてることで、学習をサポートしている。それができない授業では、タブレットなどに翻訳アプリを入れて対応している。授業の一部では、プリントに英語を表記して理解を助けている。

准校長：食堂の件だが、女子生徒が多いということもあり、売上や生徒の利用率が芳しくない。したがって、今の業者には撤退してもらって、新しい業者が入る予定である。新しい業者も17時までの営業の予定である。食べ物の自動販売機は定時制の時間でも使える予定である。

司会：質問や意見はあるか？

委員C：国際交流会館の人に授業などにサポートで来てもらうことは可能か？

保健主事：教育サポーターや学習支援員は国際交流会館のスタッフに来てもらっていることもある。ただ、時間数が少ないので、つけられるのは一部の授業になる

委員A：デュアルシステムをすることはできないか。定時制であれば授業の時間とかぶらないし、よければ就職までつながるのではないか。

進路指導主事：本校卒業生は就職後に早い段階でやめていく者が多い。その原因として、社会になれていないということが大きいと思うので、夏休みの中でできればと思っている。それがデュアルシステムなどを採用することで単位認定にまでつながればよいと思う。

委員A：地元と学校の繋がりにもなり非常によいと思う。

委員B：以前の准校長と商店街で昼まで働いて、その後学校に来るという流れができればと話していた。コロナによって話は消えていたが、また再開できればと思う。

6 第二回学校運営協議会予定について

教頭：第二回学校運営協議会では、文化祭をご見学いただき、本校生徒の様子を見ていただきたいと考えている。そのため、文化祭初日の10月12日（木）を予定日とする。